









# 子宮頸がん治療開発マップ 2017.8.

※特殊組織型（小細胞癌など）を除く

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬		
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎子宮全摘術 					
Stage IB1	広汎子宮全摘術 	<b>JCOG1101</b> 腫瘍2cm以下に対する準広汎子宮全摘術 2012.12~ 				
Stage IB2	術後再発リスク群 広汎子宮全摘術 + (同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup> 					
Stage IIA	(同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup>	<b>JCOG0102</b> 術前化学療法 2004.11→2005.4 	<b>JCOG1402</b> 術後再発 高リスク群に対する IMRT-同時化学放射線療法 <sup>1)</sup> 2017.1~ 	JGOG1067 骨盤リンパ節陽性術後 イリノテカン+ネダプラチン (Phase II) 2010.1~2011.12 →2017.8最終解析		
Stage IIB					GOTIC002 初回CCRT後 Consolidation UFT 2010.5~	JGOG 術後再発中・高リスク群に対する術後補助シスプラチンCCRT vs. TP or TC (Phase III) 計画中
Stage IIB (bulky)						
Stage III						
Stage IVA						
Stage IVB	局所治療で制御可能	<b>JCOG0505</b> 局所治療で制御不能 TP療法 vs. TC療法 ~2009.11→2011.12 	局所治療で制御不能 GOG204 →TP療法 GOG240 →TP療法+ベバシズマブ	S-1		
再発	手術または(同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup>				<b>JCOG1311</b> Tri-TC±Bev vs. ddTC±Bev (Phase II/III) 2015.10~ 	シスプラチン vs. S-1+シスプラチン →最終解析待ち

1) 同時化学放射線療法(CCRT)：化学療法(標準はシスプラチン 40 mg/m<sup>2</sup>/w 5-6回投与)と外部照射(全骨盤照射)±腔内照射の同時併用  
 TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Tri-TC：3週毎のTC、ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎に投与するTC  
 TP：パクリタキセル+シスプラチン \* 2016年5月 本邦でもベバシズマブ (Bev)が子宮頸癌に適応拡大となっている